落合市民センター講座レポート

来たれ！男のまなび舎

当市民センターや町内会を含め、地域団体の担い手不足が問題視されており、男性の地域社会への進出は大きな課題となっております。
そこで男性が気軽に参加できる多種多様な学びを通した地域交流の場を提供し、親睦を深め、男性の地域社会の進出のきっかけとする事を目的に、昨年度から引き続き、今年度は全４回開催しました！

第１回 実技「ネイチャークラフト①～ブドウの皮でストラップを作ろう～」

９月１２日(土) １０：００～１２：００

講師　里山クラフト工房

マスクの着用やアルコール消毒等の感染症対策を講じながら開講しました！
第１回目は自然の素材であるブドウの皮を使ったストラップ作りです。
講師の先生の指導の下、受講生達はブドウの皮をバラの形に編んでいきます。普段なかなか触れる機会の少ないブドウの皮に四苦八苦しつつバラの形と石畳の長方形を編み上げ、せんだんの実や木のビーズを通して自分だけのストラップを作りました。
受講生からは「難しかったが無事に完成した」という感想や完成品を早速携帯に着けるなど、達成感のある様子がうかがえたました。

第２回 実技「ネイチャークラフト②～アケビのツルで作るランプシェード～」

１０月３日(土) １０：００～１５：００

講師　里山クラフト工房

開講式に引き続き感染症対策を講じながら第２回「来たれ！男のまなび舎」を開催しました。
第２回目は第１回目と同じく自然の素材を活かしたネイチャークラフトです。前回は山ブドウの皮を使いましたが、今回は地上を這うアケビのツル（ランナー）を使ってランプシェードを作ります！
しなるツルを立体の形に編んでいくのは難しく、受講生たちは時に立ち上がり、時に膝の上に乗せながら黙々と作業に没頭していました。
完成したランプシェードに明かりを灯すとツルの模様が浮かび上がり、まるで旅館の照明のようだと大いに盛り上がりました！

第３回 講話・実技「コケ玉の魅力にふれよう」

11 月 14 日(土) 10：00～11：30

講師　七北田公園都市緑化ホール 濱中 郁子 先生

第３回は当初の予定から内容を変更し、講話・実技「コケ玉の魅力にふれよう」を開催しました。コケ玉とは、植物の根を用土で覆い上から苔を丸めたもので、最近人気の植物雑貨です。

七北田公園都市緑化ホールの濱中先生にコケ玉の説明や育て方を教わってから実践に臨みました。ケト土を丸め苔で覆っていく単純な作業ですがこれが意外と難しく、受講生は苔がまんべんなく土を覆うように慎重な手つきで丸めていきます。

土に差し込む観葉植物やシダ植物、器の形などそれぞれ好みの組み合わせを選び、初めてのコケ玉作りは大成功でした。

完成したコケ玉は日当たりの良い場所に飾り、土が乾いたら水にひたしてお世話をするそうです。

第４回 実技「ミニ門松で新年を祝おう」

12 月 12 日(土) 10：00～12：00

講師　定義町内会 会長　小林 守 先生

令和２年度最後となる第４回目は、新年に向けたミニ門松を作りました。

講師の小林守先生に持ってきていただいた本物の竹や松、梅の花、藁や山の土を使って作る門松は小さいながらも本格的な出来上がりになりました。

松の葉を竹の周りに差し込み、扇やナンテンの実をバランスよく飾り付ける為に受講生たちは門松を上から見たり、横から見たり、隣の人に意見を求めたり。和気あいあいとした雰囲気の中で講座が終了しました。

閉講式で一年を通しての感想を聞くと、継続して次年度も参加したいという声が多く上がり、コロナ禍の中距離をとりながらの交流ではありましたが親交を深められた講座になりました。

受講生からの感想

- 各企画とも大変良かった。
- 楽しく参加させていただきました。
- 大変楽しかったです。来年も期待してます。
- 大変楽しく参加させていただきました。物づくりの楽しさを感じました。次年も参加させていただきたいと思います。
- 話し合って決めた講座内容が良かった！
- 男だけの集まりは珍しく、ほとんどが女性が多い。男の希望を叶えられるので継続して開催してほしい。
- 作品が出来上がるのが嬉しく、友だちに見せてほめてもらったりした。

効果と課題

昨年度から継続して開催したことにより、受講生同士の顔の見える関係づくりをスムーズに構築することが出来ました。

また、コロナウイルス感染予防の為に当初の計画から講座内容を変更せざるを得ませんでしたが結果として受講生たちが新たな学習内容を自分たちで意見を出し合い、意欲的に講座に参加するきっかけとなりました。

次年度開催の場合は物づくりだけではなく、講話や軽運動など感染予防対策をとりつつも幅広い学習内容を取り入れていきたいと思います。